

印

明治十八年十一月十九日
陸秘才一五七號

十一月十九日

昨朝来市内ノ状況ハ極テ静穩ニシテ
各警察署管内及各検問所ヲ通ヒテ

特ニ中報スベキ事改テ

右中報候也

5-1295

5-1295



明治十八年一月二十日

臨秘中一五八号

十一月二十日

昨朝来市内静穏ニシテ各警察署管内及各検問所ヲ通シテ特ニ申報人可キ事故アリ

右申報候也

2956

書



24

明治二十一年十一月二十一日

書



24

臨時第一九九号十一月廿日

新聞ノ発行停止ニ應テ

十一月二十日發行ノ人民新聞并三午
八百九於八号ハ時弊ニ妨害アリ
認メ其奈去賣頒布ヲ停止シ且ツ
爾今其發行ヲ停止セリ

右申報候也

2957

5-1295

明治二十一年十一月二十一日

警政署



ep

臨時第一六一號

十一月二十一日



昨朝来市内静穏ニテ各警察署
管内及各検問所ヲ通リテ特ニ申
報スハキ事故ナレ

右申報候也

文書 2959

5-1295



●●●●●●

梨

臨秘一六二号

十一月廿二日

昨朝来市内静穏ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特ニ申報
ス可キ事故ナシ

右申報候也

24

5-1295

2969

秘

臨秘一六三號

十一月廿三日

昨朝来市内静穏ニレテ各警察署
管内及各検問所ヲ通レテ特ニ申
報スハテ事故ナシ

右申報候也

明治六年十一月二十三日

喜

調

調

調

調

調

24

5-1295

文書 2973

秘

臨時第一六四号

十一月廿四日

昨朝来市内静穏ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特ニ申
報ス可キ事故ナシ

右申報候也

明治六年十一月廿四日



24

5-1295



機密 文書 2983 辨

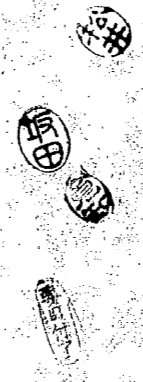
臨秘第一六五号

十一月二十五日

昨朝来市内静穏ニシテ各警署
署管内及各検同所ヲ通シテ特
ニ申報ヲ可キ事政トシ

右申報候也

東京府警視庁 警務課



24

5-1295

文書2984

右申報候也

昨朝来市内静穏ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特ニ申
報スヘキ事故ナシ

十一月廿六日

臨秘一六六號

昭和十一年十一月廿七日

警署



手紙

山

5-1295

機密 第2993號



臨時第一六七號

十一月廿七日

政務局



昨朝来市内平穩ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特ニ申
報ス可キ事 故テシ

右申報候也

事務視

己

秘

文第1001號

明治十八年十一月廿七日

喜望峯

1001

印

249

臨秘第一六号

新岁解停ノ件

晨ニ發行ノ停止レタル讀賣新岁、本日共

停止ノ解除ス

右申報也

明治十八年十一月廿七日

5-1295

文部省 002 辨

臨秘市一六九號

十一月二十八日

昨朝来市内平穩ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特ニ
申報スルキ事一故ナシ

右申報候也

印

24

文書2015

臨秘カニセ〇號

十一月二十九日

昨朝来 市内平穩ニシテ各警察署
管内及各検問所ヲ通シテ特
申報スルテ事故ナシ
右申報候也

子下

5-1295

第3012番

改

明治卅六年十一月十九日接受

臨時第一七一号十一月廿日

新聞雜誌ノ解停ニ應テ

曩ニ発行ヲ停止シタル人民新聞

誠友直言、帝國文學、本日

其停止ヲ解除ス

右申報候也

於之規

5-1295

張 冬

神奈川縣公報

號

外

明治三十八年九月十日
神奈川縣廳

○告 論

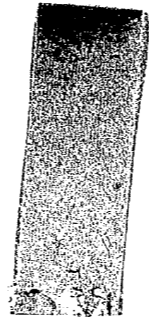
神奈川縣告諭第二號

昨年開戦以來各般ノ行動能ク秩序ヲ保全シ無前ノ大業ヲ遂行シテ今ヤ平和終局ノ期ニ際シ端ナクモ東京市ニ於テ騷擾ヲ激發シ數日喧嘩ヲ極メ其ノ行動遂ニ節度ヲ失シ將ニ不測ノ患害ヲ醸成セムトスルノ兆ヲ顯ハスニ至リタルハ誠ニ痛嘆ニ堪ヘス
夫レ言論ノ尊重スヘキハ言ヲ俟タス況ンヤ國家ノ利害休戚ニ關スル切要ノ問題ニ對シテ是非ノ意見ヲ發表スルハ愛國ノ至情固ヨリ妨ケサル所ナリト雖之ヲ發表スルニ方リ苟モ常軌ヲ逸シ其ノ極人ヲ傷ケ財ヲ破ルカ如キハ實ニ社會ノ秩序ヲ破壞スルモノト云ハサルヲ得ス
此ノ際各自其ノ意見ヲ發表スルニ於テ宜シク節度ヲ尊ヒ秩序ヲ重シテ苟モ輕率社會ノ安寧ヲ紊スゴトナカラムコトヲ期スヘシ

明治三十八年九月九日

神奈川縣知事 周布公平

神奈川縣公報外 明治三十八年九月十日 第三編(第三號)



明治三十九年九月廿一日
 大正四年九月廿一日
 東京府知事 菅野直
 東京府警察局長 菅野直
 東京府衛生局長 菅野直
 東京府教育局長 菅野直
 東京府工務局長 菅野直
 東京府農務局長 菅野直
 東京府商工局長 菅野直
 東京府交通局長 菅野直
 東京府消防局長 菅野直
 東京府警察局長 菅野直
 東京府衛生局長 菅野直
 東京府教育局長 菅野直
 東京府工務局長 菅野直
 東京府農務局長 菅野直
 東京府商工局長 菅野直
 東京府交通局長 菅野直
 東京府消防局長 菅野直

印刷者 東京 菅野直
 東京府知事 菅野直
 東京府警察局長 菅野直
 東京府衛生局長 菅野直
 東京府教育局長 菅野直
 東京府工務局長 菅野直
 東京府農務局長 菅野直
 東京府商工局長 菅野直
 東京府交通局長 菅野直
 東京府消防局長 菅野直

東洋三九年

西曆一九〇九年

五月

廿九日

廿九日

2219

東洋三九年五月廿九日... 頃中山の十三番... 五教師、諸人、依て東京市中... 一時避難せしと思ふ、今日、暑帯... 徒か此機、利用し、暑帯を... 形勢、は月ごとく、

お及板書

周布公平

紅毛在伯奇社書版

(田中良也)

明治廿八年十月十四日
秘第一三五六号

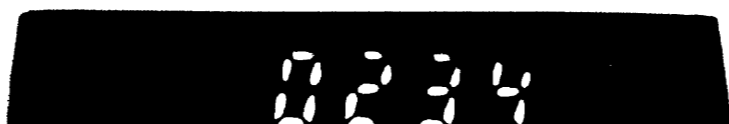
出兵要求、頓末

昨十二日午後七時ヨリ横濱市羽衣町新場町
衣座ニ於テ鳩和同恩ニ関スル政談演説會ヲ
上野徳蔵ノ発起ニテ開會セリ并士八坂部四郎
奥野市次郎外六名出演ノ旨ナリシレド刻下
民心沸騰、折柄トテ入場者ハ定刻前既ニ三千
ニ達シ満場立錐ノ地ナキ為テ入場ニ能ハサルモノ
約四五百以上ニ上リ内外共ニ稍々殺気ヲ帯ビ
タル仕勢ナリシガ并士文ニ登壇セリメ場内極
不穩ノ形跡ナカリシモ全八時三十分ニ至リテ并士
僅カニ四名演了セシノミニテ會主ハ他并士ノ出
席ナキ旨ヲ告ケ散會ヲ告ケタルヨリ表裏非常

憤激シ會主ニ入場料ヲ返セト怒罵シ又ハ存款
泥坊ナリト、嘲罵或声ハ合シテ益々不穩ノ形勢ヲ
示シ殊ニ場外ノ蟬集者既ニ盛ニ暴行ヲ演ズルヨリ
内外相應シテ大騷擾ヲ起シ警察官ノ制止ヲ止ム
セザルノミナラズ之レニ反抗シテ直ニ四五ノ巡查ニ負
傷セシメ漸ク退却セシト思フ頃數千ノ羣
衆ハ伴勢佐木ハ警察署ヲ襲ヒ暴行ヲ送ラ
セトシタルニ警察署ニシテ近ク能ハズ遂ニ轉シテ
全四者所屬格々枝町派出所ニ大ラ放テ燒テ毒
町警察署部内ニ及ホシ合行派出所ノ放火燒
ニ業セラシタルモノハ破壊セラシタルモノ三ノ多キニ達シ
益々狂暴ヲ逞フレテ旧居留地内ニ侵入セント直
ニ進テ仙米領事ヲ擧テ放會堂等ヲ襲撃す

ノ説頻々トシテ傳ヘラレ奉存頗ル容易ナリト云々
況テ至セルニ至ル先受備和向更ニ國ニ氏心昂騰
ニ連シ帝都ニ於ケル大紛亂ハ本市全体ニ大忠
怖ノ念ヲ惹起セシメ一度之レカ級ヲ履マバ貿易
上ニ及マズ影響計リ知ル可ラヌトナシ殊ニ在留
外國人ニアリテハ種々ノ菲説流言ニ誤ラレ上ト
通シテ戰ニ競々タル状態ニシテ中ニ保護ヲ申
出ツルモノアルニ至ルンモ幸ヒ平穩ナリシガ為メ專ラ
危殆ニ至ラズシテ、アリシニ突然昨夜ニ至リテ前
述ノ事体トナリ暴徒ノ狂暴ハ前述ノ如ク居留
地破壊ニアリトノ説高ク殊ニ本月十日樺太ヨリ
後送セル露國文官五百八十一名、未タ旅店ニ滞
留シテ便船ヲ待ツモノナリ和之官ヲ遼東守備軍

ニ於テ刑律ニ觸ル重科ニ処セラルル澳國人ガレシ
ミヨシテスキール者免刑トナリテ横濱並獄ヨリ市
内毒町警察署者ニ交附セラレ本朝ニ供出領事
ニ引渡スルモノアル等其危險真ニ想像ノ外ニ
シテ軍隊ノカクテ之レシ保護設備スルニアラハ
ニアラサルヨリハ他ニ通過ナキニ至リヤ切時本官地方
官會日議ノ為メ上京中ナリシガ急迫ノ情報相
繼テ至リ終ニ本日午前一時急遽出兵ヲ成ルル
止ムラ得サルヲ認メ電報ヲ以テ第一師團長ニ歩
兵二個中隊ノ出兵ヲ命ジ置キ更ニ通信大臣ニ臨
時汽車差支テ先ニ救次交度ノ未之レガ許可
ヲ得ルルヲ以テ午前四時迄軍隊ト同乗合四時四
十二分横濱ニ着シテ一時恰モ黎明ニ近ク暴徒漸



ノ四散スルニ至リシモ高危險ノ上虞アルヲ以テ軍隊、
一個中隊ハ停車場ヨリ昨夜、騷擾地タル伊勢佐
木町ヲ経テ公園地ニ至リ他、一個中隊ハ停車場ヨ
リ本町ヲ経テ公園地ニ向ヒ兩者相合シテ夜ニ
此地ヲ集合一所ト爲シ部署ヲ定メ各團領事ヲ
特ニ柔床併独而路清、六領事ノ先ニ耶、獲敵
會重其他把要、個所懸々哨兵ヲ配置シテ夜
察官ト相待テ多敷會重警戒中ニ有之又同時
ニ市長ニ此降況ヲ各團體及各町重立者ニ可ク
人心鎮撫策ヲ採ルニ様告諭スルノ旨ニ尚ホ一
和士官ニ一紙中民ニ対シ別紙縣公報、如ク先諭ヲ
發スルヲ自下ノ故呢先ヲ靜穩ニ有之ト
進テ有無配置、個所ニ後ヨリ此國ニ示レ坦、奇

致候

右及以被候也

明治三十二年九月十三日

神奈川縣警察團長

外務省外務局長殿

(外務省通在在)

神奈川縣公報

○告 諭

神奈川縣廳

明治三十八年九月十三日

神奈川縣告諭第三號

本月九日本縣告諭第二號ヲ以テ此ノ際各々其ノ行動ヲ慎ミ秩序ヲ重シム
 ヘキコトヲ諭示セシニ拘ハラヌ昨夜橫濱市ニ於テ速ニ騷擾ヲ惹起シ頗ル
 不穩ノ行動ヲ逞フスル者アルニ至リタルハ洵ニ遺憾ニ堪ヘス
 此ノ行動タルヤ尋常ヲ以テ視ルヘキ狀況ニ非サレハ直ニ師團長ニ移牒シ
 テ出兵ヲ請ヒ既ニ軍隊ノ派遣ヲ得市內各樞要ノ地ニ配備シタリ
 市民ハ其ノ筋ノ警護ニ信頼シテ毫モ危惧ノ念ヲ抱カス宜シク心ヲ安シ業
 ニ從フヘシ而シテ今後若シ再ヒ騷擾ヲ醸スルノアルトキハ各自之ヲ避ク
 ルコトニ心ヲ用ヒ其ノ附近ヲ徘徊シ又ハ傍ニ在テ自ラ不測ノ危害ヲ招ク

神奈川縣公報外 明治三十八年九月十三日

5-1295

トナキ様深沙注書(又ハ) 附録ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
明治三十八年九月十三日 神奈川縣知事 周布公平
前記ノ其ノ趣、附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
出願ノ附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
此ノ附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
本編ノ附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰
附録ニ計職ノ支八附ニ春先自不暇ノ録書ヲ撰

神奈川縣公報

神奈川縣 附録

明治三十八年九月十三日

明治三十八年九月十四日

秘 華二三五六號

横濱市内騒擾事件ニ付前報後ニ異状無之候ニ其状況
左ノ如シ

一去ルハ二日事件ノ發生以來市内一般何レモ不安ノ念ヲ
懷キ殊ニ居留外國人ノ多クハ恐怖ノ念甚數中ニハ
妻子ヲ本國ニ送還セントスルモノアリシモ昨朝軍隊ノ
警備各所ノ配置狀態ヲ目撃シ何レモ大ニ喜ビ稍
不安ノ念ヲ減シタルモ尙未ダ全ク安堵シタル模様ナシ
一今十四日午前九時廿分新橋発列車ニテ夫吹留守
第一師團長末濱シ大隊長以下ヲ洗ハ市内各所ニ
於ケル警備配置ノ狀況ヲ視察シ又警務長ヲ随行
セシタルニ各警察官吏ノ配置並ニ警備ノ狀況ヲ
視察シ午後六時急キ帰京セラレタリ

秘

2146

一本日ヨリ向フニ同市内日枝神社ノ禮祭ニシテ從來
非常ニ雜沓ヲ極ムルヲ常トスルヲ以テ嚴重注意警
戒ヲ加ヘ殊ニ夜間醉ニ乘シ此際不測ノ暴舉等アル
ヤ難計注意中ナリ

右及報告候也
明治三十八年九月十四日
神奈川縣知事周布公平

内務大臣子爵芳川顯正殿

神志川紅石市報告

軍隊配置

縣廳

英米魯領事館附近

清國領事館附近

獨領事館及ホテル附近

佛領事館附近

税関附近

山手教會堂(八三番)附近

山手基督教學校(二二番館)附近

羽衣座附近

伊勢町官舎附近

揮菱物貯庫

爆發物貯庫

文書2339

其他必要上認め場所、若干

大隊本部 渡邊福三郎方

大隊長少佐 田中次郎

中隊本部 安見町

中隊本部 元町 萬鐵方

元町 橋本氏 長官一八

萬鐵 五三番

元町 橋本氏 長官一八

本町 橋本氏 長官一八

本町 橋本氏 長官一八

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇

(其内、山手教會堂附近)

神奈川縣公報

號外

神奈川縣廳

明治三十八年九月十九日

○告諭

神奈川縣告諭第四號

竊ニ横濱市ニ出兵ノ必要ヲ生セシ以來一二不穩ノ行動ヲ爲ス者アリシト雖早ク既ニ其ノ痕ヲ絶テ今ヤ市ノ安寧ハ全ク平時ノ狀態ニ復シテ亦軍隊ノ駐屯ヲ要セサルニ至リタレハ之ヲ第一師團長ニ通牒シテ本日兵ヲ撤セ

自今市民益々戒心シテ一層本市ノ秩序ヲ保全スルコトニ努ムヘシ

明治三十八年九月十九日

神奈川縣知事 周布公平

5-1295

幡奈川總公辨

總長

幡奈川總公辨

西曆三十八年正月十日

○告 諭

西曆三十八年正月十日
 幡奈川總公辨 照公平
 自今市界益々漸心々々一畝本市ノ地領ヲ紛全クハヒニ撥ムハシ
 大指事々要々々々ニ注リルルルルルル一輪團身ニ垂懸シテ本日更ニ難ク
 解早々領ニ其ノ難キ難キ今市ノ地領ハ全ク平潤ノ地領ニ難キモ亦軍制
 斷ニ漸整市ニ出況ノ必要々々注リルルルル一不懸ク行儀モ欲ク答々々々
 幡奈川總公辨 謹啓

299

神皇正統記
卷之六
一三五
六
24

作。出。考。要。本。因。三。類。末。日。報。告。呈。上。
大。別。氏。噴。出。配。置。ノ。時。因。提。升。等。ノ。

明治三十八年九月十日
神皇正統記 周布公

外務省 伯府 柱下 氏

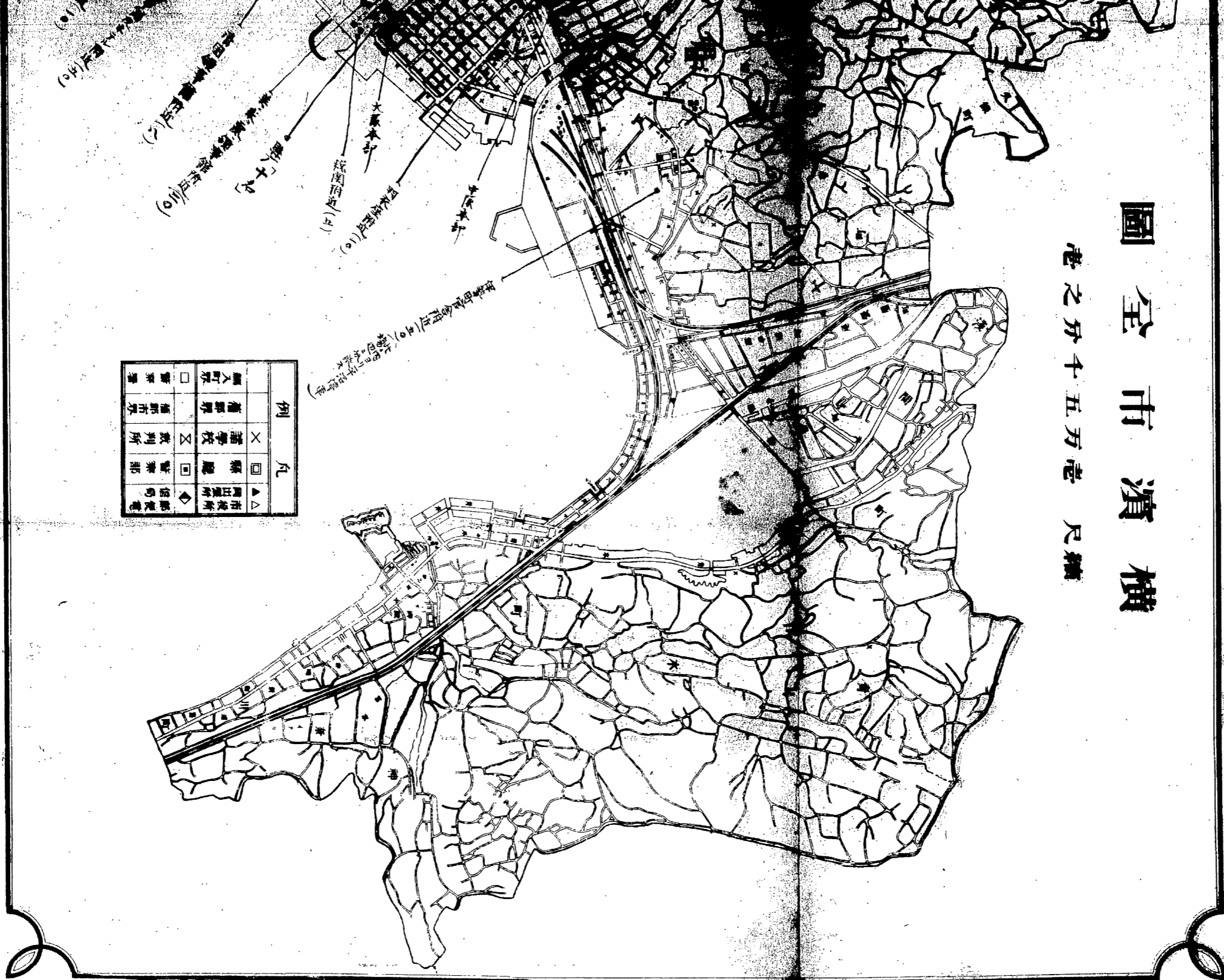
神皇正統記

5-1295

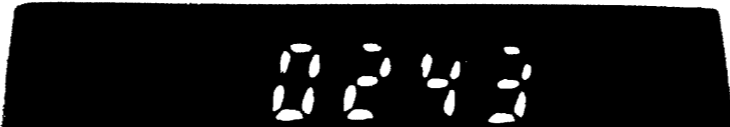
0242

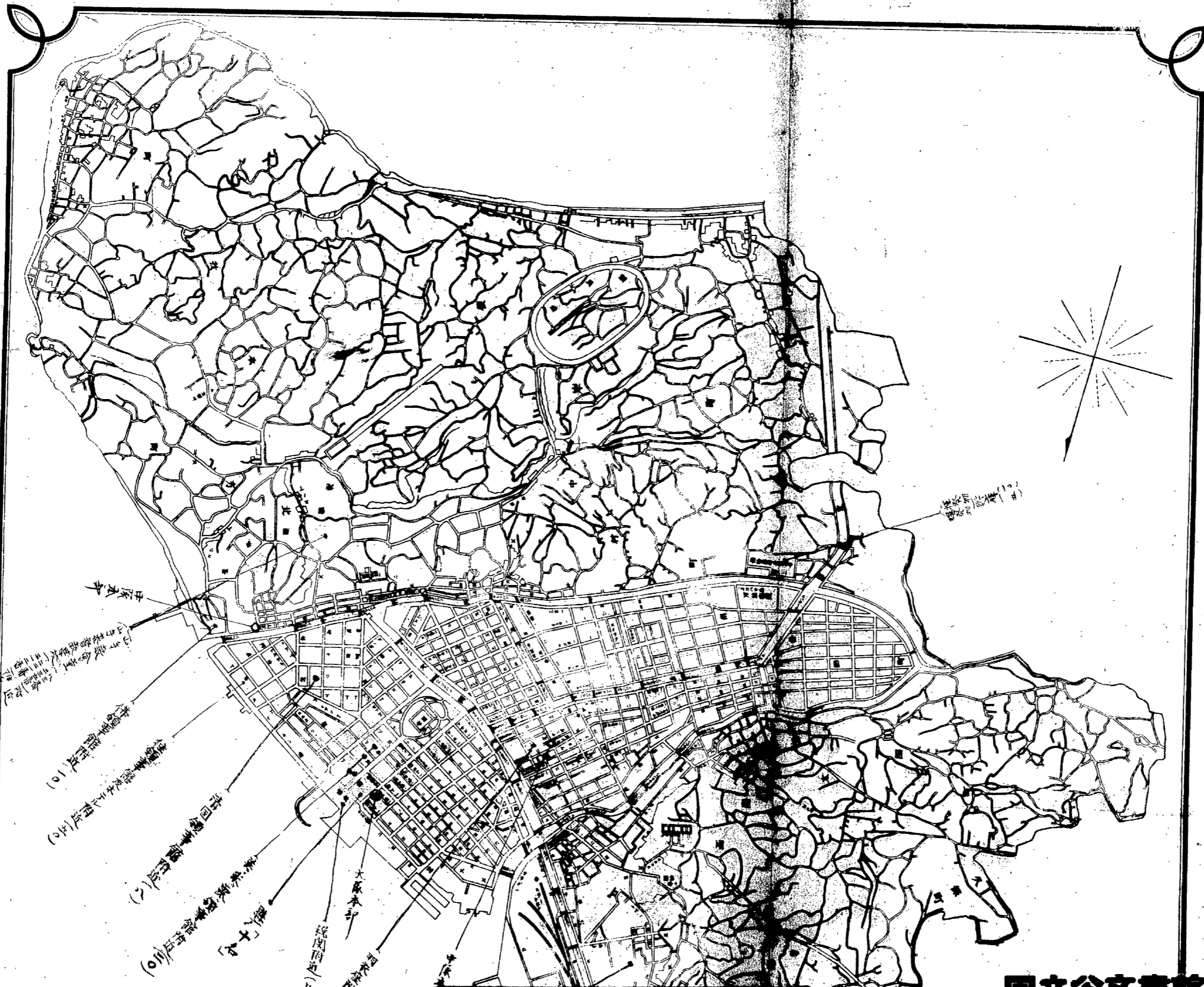
横濱市全圖

縮尺 志方十五分之



凡例	
△	市役所
▲	町役所
◆	郵便局
□	警察署
○	警察署
×	庭園
×	学校
×	裁判所
○	市界
○	町界





5-1 295

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

日五

電受第九九號 明治三十八年九月六日午後八時五分 發

桂外務大臣 神奈川縣

當市靜澄、帰セシ存本日沙團長、
撤兵ヲ請求シ明日軍隊全數車夫
引揚、管

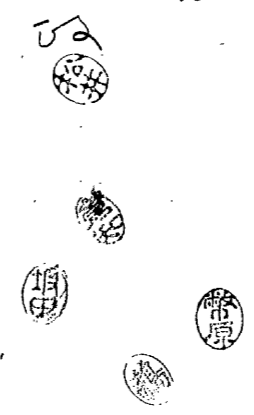
外務省

大臣

電信課長

次官 乾

主管



5-1295

文部省

秘登第六八号
一昨六日以来横濱市内へ全部静謐に成り民心
全ク鎮靜シテ各其業ニ安ンシモ平日本果
サルニ望シテ右ハ軍隊ノ警備セラレタル其一因ナル
ベシト雖も彼ノ暴民類々トシテ檢禁柙林未セラ
ルト共ニ本官ノ發シタル諭告全ク普及シタル結
果ナリト認ナラシ居留外人ニ於テモ今回暴徒
真相全ク賤民ノ無意識ニ起レルモノナル事會得
セラレタル為テ路ノ不安ノ念ヲ懷クモノナキニ至レリ
以上ノ状態ナルヲ以テ本日限り軍隊ノ發備ハ其必要
ナキヲ認メ引揚方第一師團長ニ通知セリ又破攘
兵ニ號令セシ派出所復旧工事ニ就テハ昨十六日臨
時縣事會會ヲ開キ費用即決セシメ以テ本日ヨリ

着手ニ不日新築ヲ修ムル事ナリ
右及張告候也

明治三十八年九月十八日
神奈川県知事岡田武平

外務省任事桂方寸殿

(西外函)

機密 文第2318號

横濱市内騒擾ニ関シ警備ノ為メ晨ニ出兵ヲ
請ヒ候処今ヤ民心全ク静謐ニ歸シ毫モ平日
ト異ナラサル旧状ニ復シ殊ニ在留外国人ニ
アリテモ既ニ暴動ノ真相ヲ會得シ不安ノ念
全ク去リタルヲ認メ候ニ付昨十八日限り師
團長ニ撤兵ヲ請求シ本日全部東京へ引揚
ノ筈ナリ
右及内報候也

明治三十八年九月十九日

神奈川縣知事 周布公平

外務大臣 伯耆 桂 太郎 殿

(内外陸海軍各局)

必第三五五六號

印 3

文部省 289/4冊

秘第ニ三五五六號
栢瀬市警備ニ為メ駐屯セシ軍隊ニ手拔ノ
如ク補助憲兵隊ハ本日午前十時ニ分岐地奈
陸路ヲ歩兵二個中隊ニ二年十二時ニ汽流車ニ
付テ歸來セリ先是本市氏ハ今回ノ奉命ニ付
致言察官吏ノ処置ニ對シ深ク満足スル共ニ軍
隊終備ノ勞ヲ多クシ昨日市公ノ序ヲ以テ有志
ハ日台シ警察官及軍隊ニ對スル感謝狀贈呈
ヲ議決シ本日軍隊出發ニ際シ多謝ノ市民之
ニ歡送スル共ニ市會議長ニ感謝狀ヲ指揮
官ニ呈シ謝意ヲ表セリ
尚本日全部撤兵セシニ就テハ今後益々市民ヲ
ニテ戒心自重セシムヘキヲ以テ別紙諭告ヲ奉シ

特ニ注意ヲ其ヘタリ
右及報告候也

明治三十八年九月十九日

神奈川県知事 周布公平

外務大臣 伯耆桂太郎 殿

(別紙)

(内外陸連相)

神奈川県警備隊

御事 栢瀬市警備隊ニ要ラシ生シニ兼ニ不穩行動ヲ去者アリト
苦モ早ク既ニ其病ヲ癒シ今市ノ安寧ハ全ク平時ノ状態ニ
復シテ再軍隊ヲ駐屯ラ要セザルハ之ヲ所因長ニ進解シ
ラ本日兵ヲ撤セリ
自今市民益々戒心ニ乏層本市ノ秩序ヲ保全スルニ可シ
明治三十八年九月十九日 神奈川県知事 周布公平